

衆議院予算委員会ニュース

平成 22.2.10 第 174 回国会第 9 号

2月10日(水) 第9回の委員会が開かれました。

- 1 平成 22 年度一般会計予算
平成 22 年度特別会計予算
平成 22 年度政府関係機関予算
- ・菅財務大臣、赤松農林水産大臣、前原国土交通大臣、平野国務大臣（内閣官房長官）、仙谷国務大臣（国家戦略担当）、枝野国務大臣（行政刷新担当）及び衆議院法制局当局に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

豊田 潤多郎君（民主）

- ・今後の事業仕分けの展望について枝野国務大臣（行政刷新担当）の見解を伺いたい。
- ・平成 23 年度予算編成に当たり、各省の政務三役に予算を厳しく査定させ歳出を削減する姿勢を徹底させる必要があると考えるが、仙谷国務大臣（国家戦略担当）の見解を伺いたい。
- ・これまで財政が悪化した経緯を踏まえ中期財政フレームを策定すべきであると考え、菅財務大臣の見解を伺いたい。

梶原 康弘君（民主）

- ・現在の農業の衰退・農村の疲弊の原因はこれまでの農政にあると思うが、赤松農林水産大臣はどう考えるか。
- ・農業者戸別所得補償制度の導入などにより、これまでの農政は大きく転換することになるが、今後の農政に向けての赤松農林水産大臣の決意を伺いたい。
- ・農林水産省が策定した「森林・林業再生プラン」の内容はどのようなものか。

中島 隆利君（社民）

- ・森林の洪水防止効果などを考慮したダムに頼らない総合的な治水を検討し、川辺川ダムにおいても同様の考え方の治水を行うべきではないか。
- ・社会資本整備総合交付金の交付にあたっては、財政力の弱い自治体に配慮する必要があるのではないか。
- ・国土交通省が策定を検討している交通基本法においては、地方の公共交通の果たす役割を考慮した姿勢が必要ではないか。

金子 一義君（自民）

- ・予算案の国会審議前に国土交通省が予算配分に関する資料を民主党都道府県連に内示したことについて、政府が当該資料を当委員会に提出しない理由を伺いたい。
- ・資料の内示が国家公務員法第 100 条第 1 項の守秘義務に抵触するおそれや、国会の予算修正権を侵害するおそれがあるのではないか。